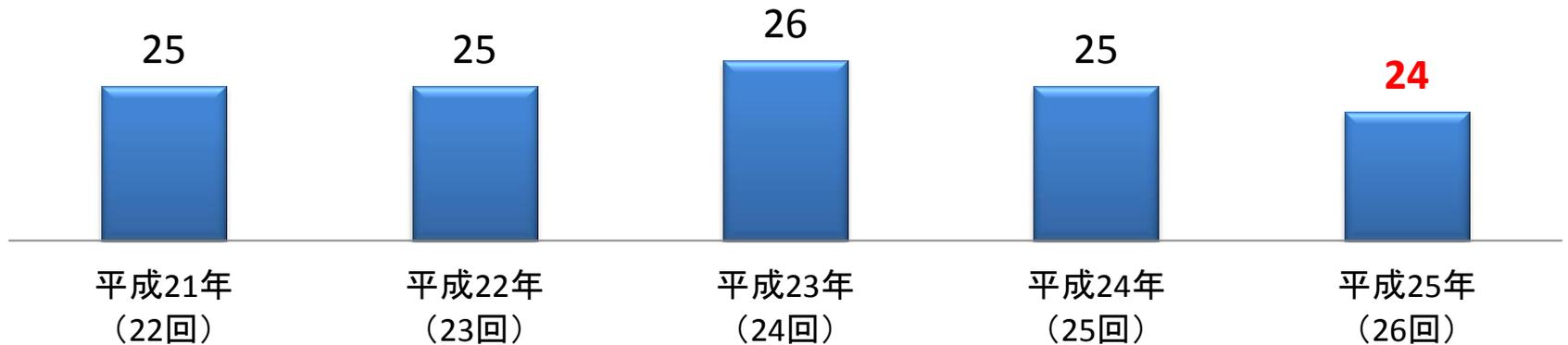


第26回 大分県医師会精度管理調査

病理細胞診部門
フォトサーベイの解説

参加施設数 / 正解率

過去5年間の参加施設数



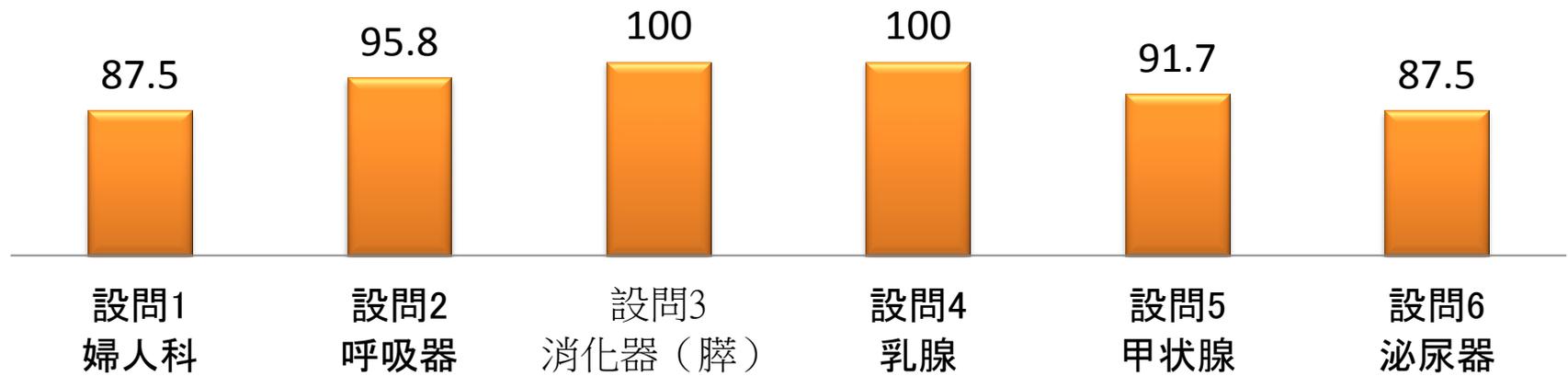
過去5年間の総合正解率の推移(%)



前年度より正解率15.1%上昇

設問別正解率 / 施設別正解率

設問別正解率(%)

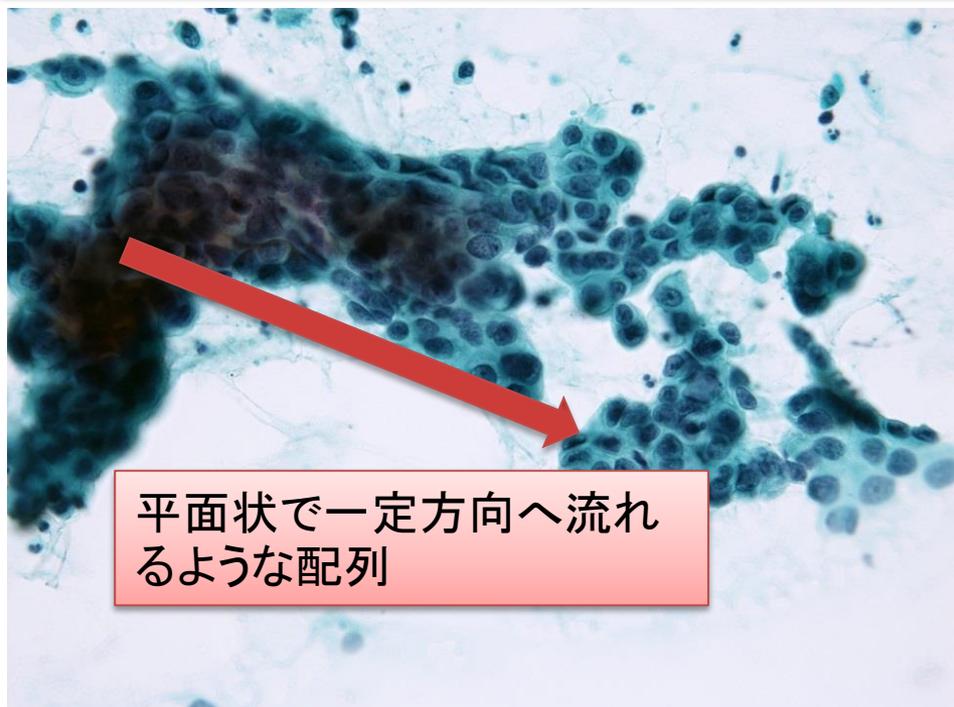


施設別正解率(%)

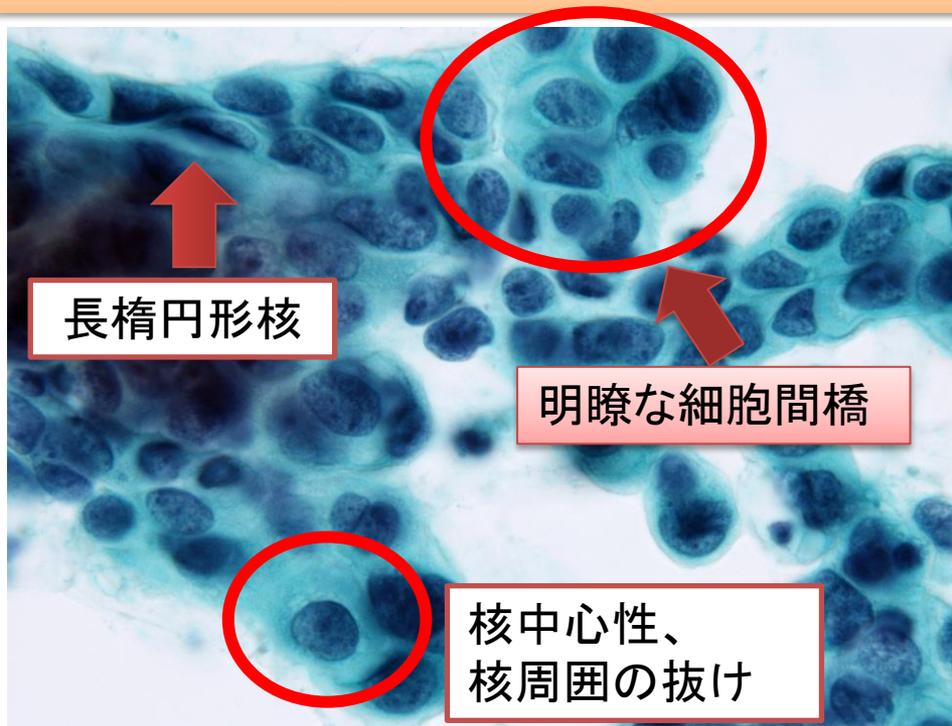


設問1 50歳代・女性 子宮腔頸部擦過 検診

Pap.染色 中拡大



Pap.染色 強拡大 (High magnification)



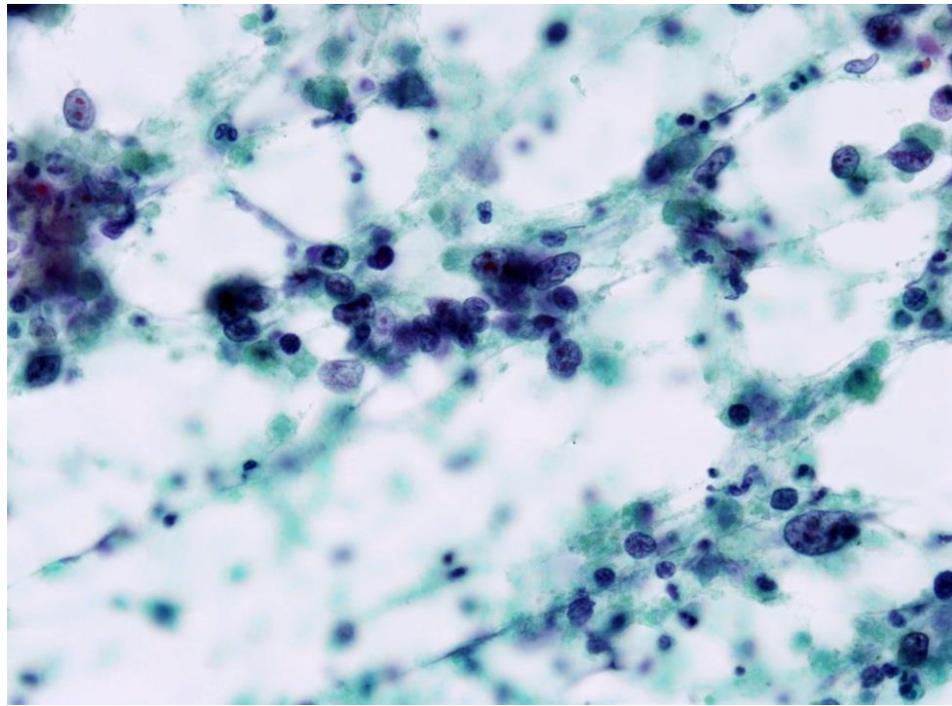
回答名称	件数	%
CIN3(高度異形成)	0	0
CIN3(上皮内癌)	0	0
非角化型扁平上皮癌	21	87.5
内頸部型粘液性腺癌	2	8.3
類内膜腺癌	1	4.2
その他	0	0
小計	24	

鑑別のpoint

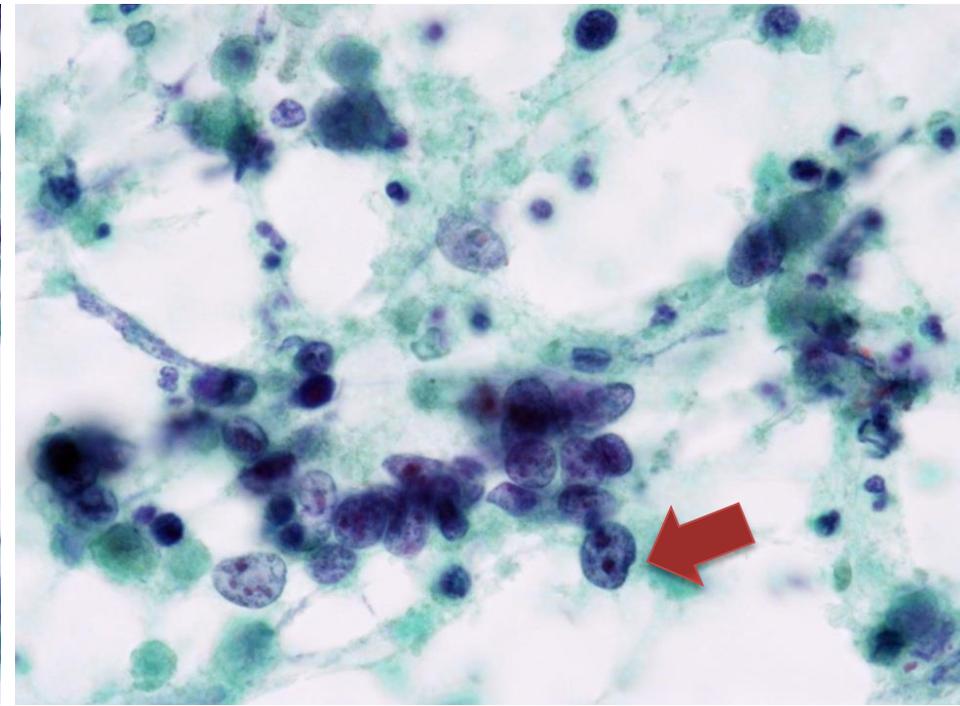
- 一部に平面状で一定方向へ流れるような細胞配列を示す集塊
- 細胞質はライトグリーンに好染し、厚みを感じる部分がある。
- 一部では、明瞭な細胞間橋も確認できる。

設問2 80歳代・男性 気管支擦過 肺癌疑い

Pap.染色 中拡大



Pap.染色 強拡大



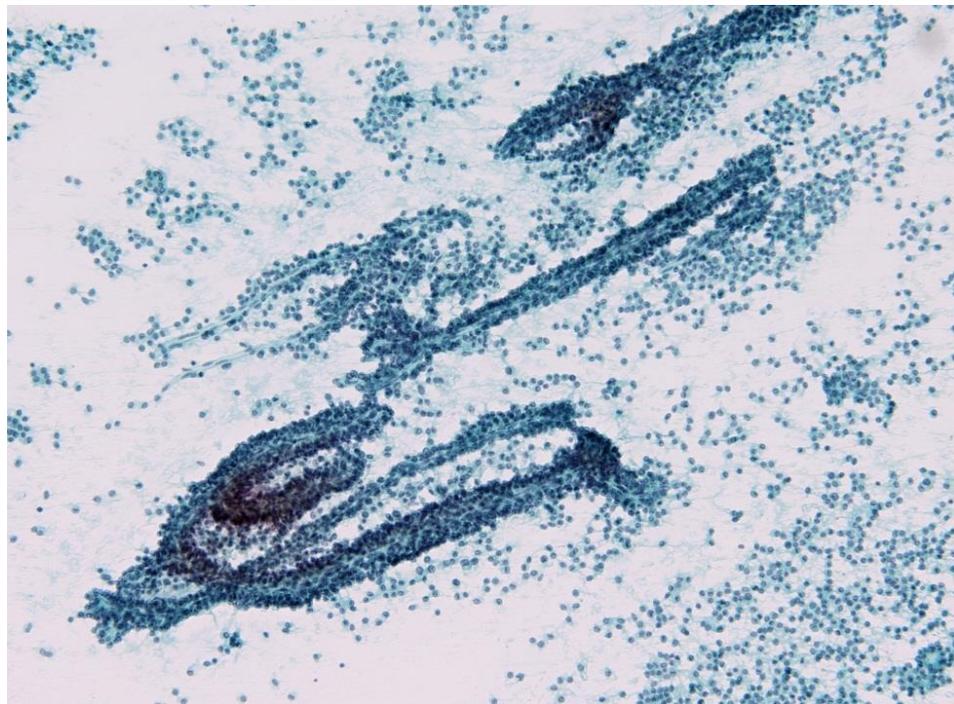
回答名称	件数	%
低分化型扁平上皮癌	0	0
低分化型腺癌	1	4.2
カルチノイド腫瘍	0	0
大細胞神経内分泌癌	23	95.8
悪性リンパ腫	0	0
その他	0	0
小計	24	

鑑別のpoint

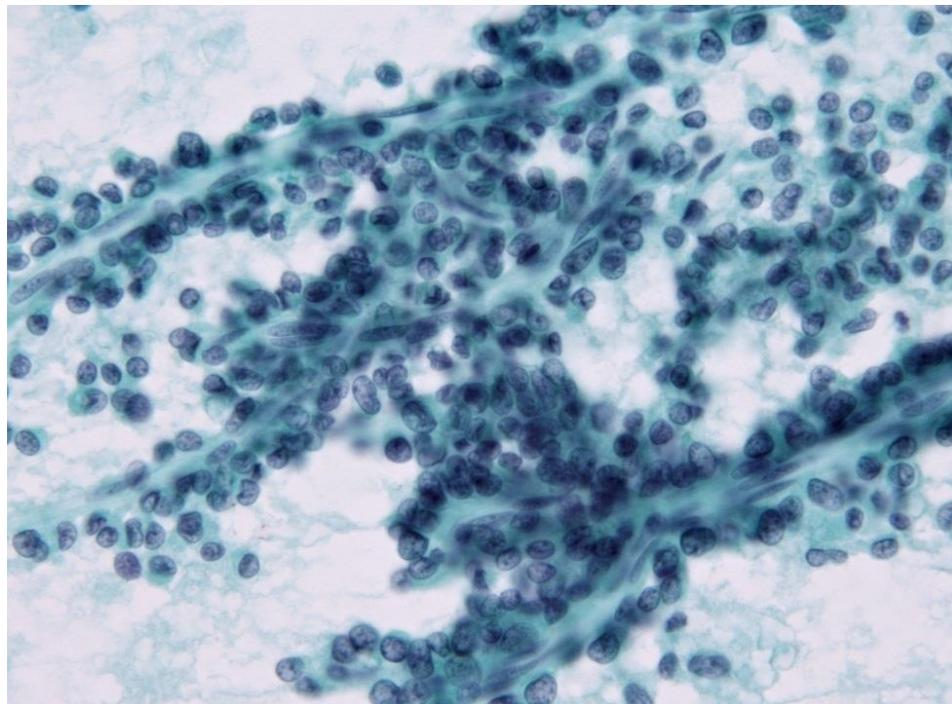
- 壊死性背景.
- 腫瘍細胞はリンパ球の2~3倍程度の大きさ.
- 微細顆粒状の核クロマチン増量.
- 一部には明瞭な腫大した核小体を認める.

設問3 20歳代・女性 膵腫瘍捺印 膵腫瘍

Pap.染色 中拡大



Pap.染色 強拡大



回答名称	件数	%
膵管内乳頭粘液性腺腫 (IPMA)	0	0
慢性膵炎	0	0
Solid-pseudopapillary tumor	24	100.0
浸潤性膵管癌	0	0
島細胞腫	0	0
その他	0	0
小計	24	

細胞所見

- 円形～類円形核を有し、N/C比が高く、比較的小型且つ均一な腫瘍細胞。
- **毛細血管伴った偽乳頭状**あるいは、結合性に乏しい充実性集塊として出現。
- 細胞質はレース状～顆粒状で、核クロマチン細～粗顆粒状に増量している。

Solid-pseudopapillary tumor



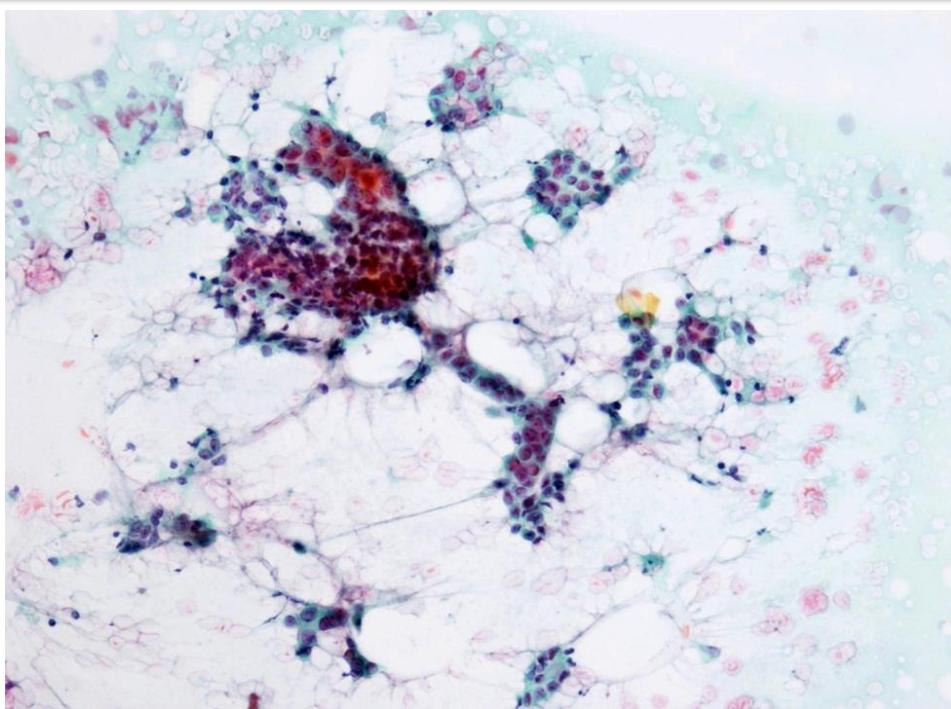
一定の割合で悪性腫瘍を認める

Solid-pseudopapillary neoplasm (SPN)

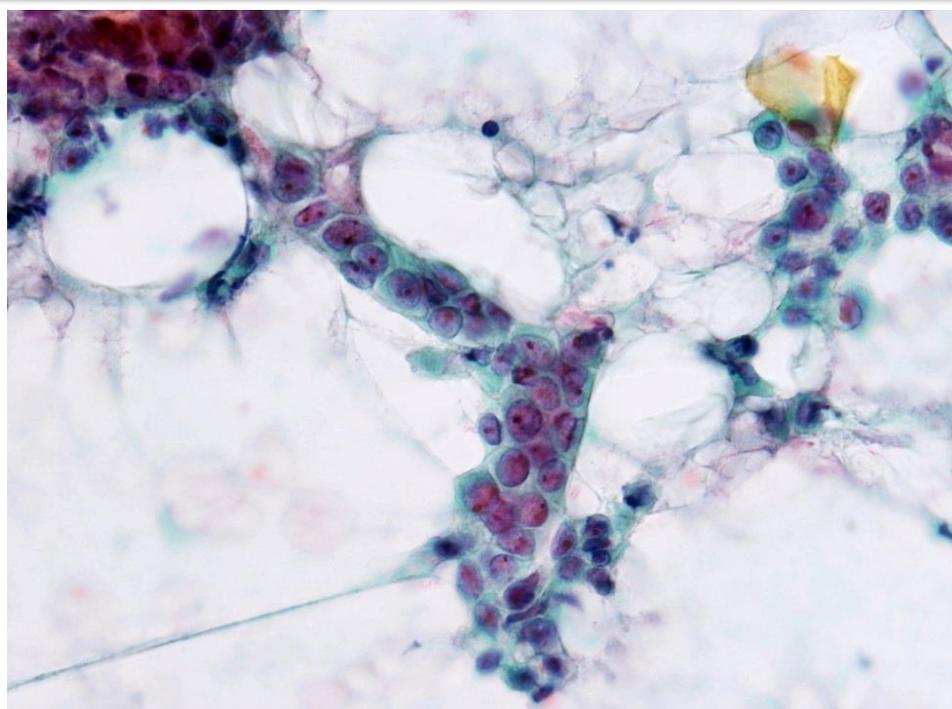
- SPNは膵外分泌腫瘍の1～2%を占めるとされるまれな腫瘍.
- 膵外側へ膨張性に成長する球形の腫瘍.
- 「膵癌取扱い規約第6版」では、腫瘍の分化方向の不明な上皮性腫瘍に分類されている.
- 若い女性の膵体尾部に発生することが多いとされているが、若年男性や膵頭部発生も少なからず存在する.
- 現在Low grade malignancy tumorと認識されているが、一定の割合で悪性腫瘍を認めるため、確定診断がついた段階で原則外科治療が適応となる.

設問4 50歳代・女性 乳腺針生検捺印 腫瘤自覚

Pap.染色 中拡大



Pap.染色 強拡大



回答名称

件数

%

線維腺腫

0

0

乳頭腫

0

0

浸潤性微小乳頭癌

0

0

浸潤性乳管癌(硬癌)

24

100.0

浸潤性小葉癌

0

0

その他

0

0

小計

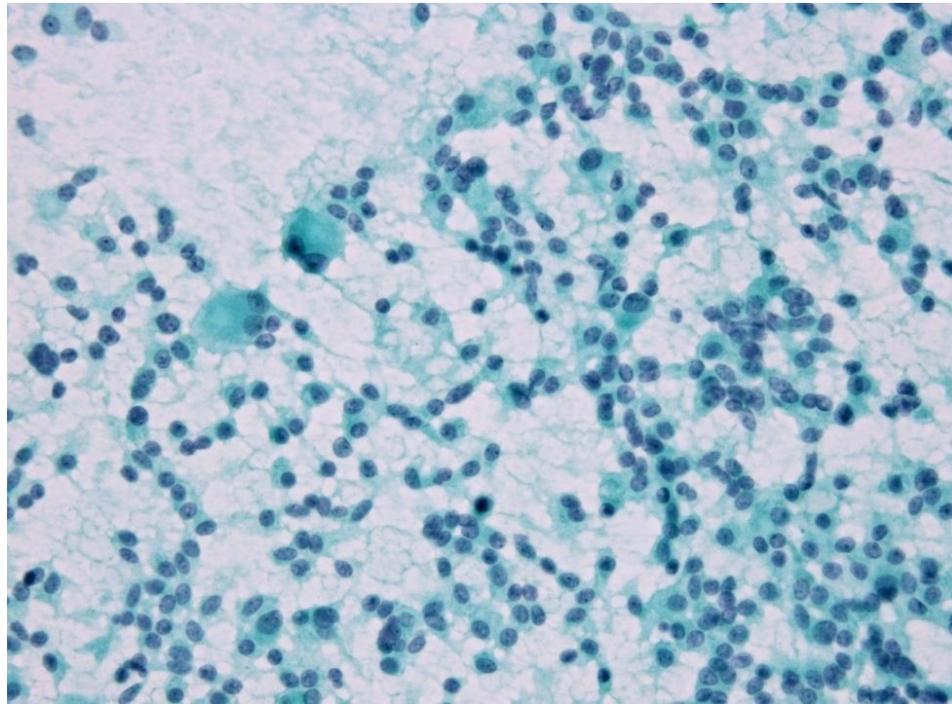
24

細胞所見

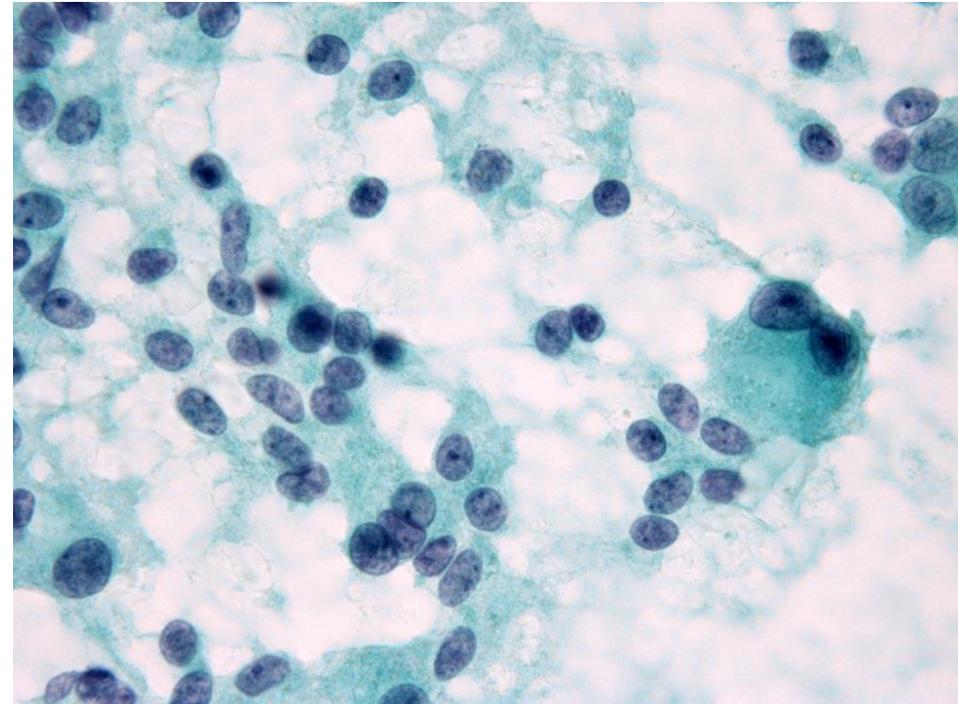
小集塊状あるいは索状配列を示す細胞集塊が観察される。集塊内の細胞間同士の結合性は比較的強く、集団の辺縁は直線的である。また核の大小不同や核形不整、クロマチン増量などの所見も観察される。

設問5 30歳代・男性 甲状腺穿刺 **多発性腫瘤**

Pap.染色 中拡大



Pap.染色 強拡大



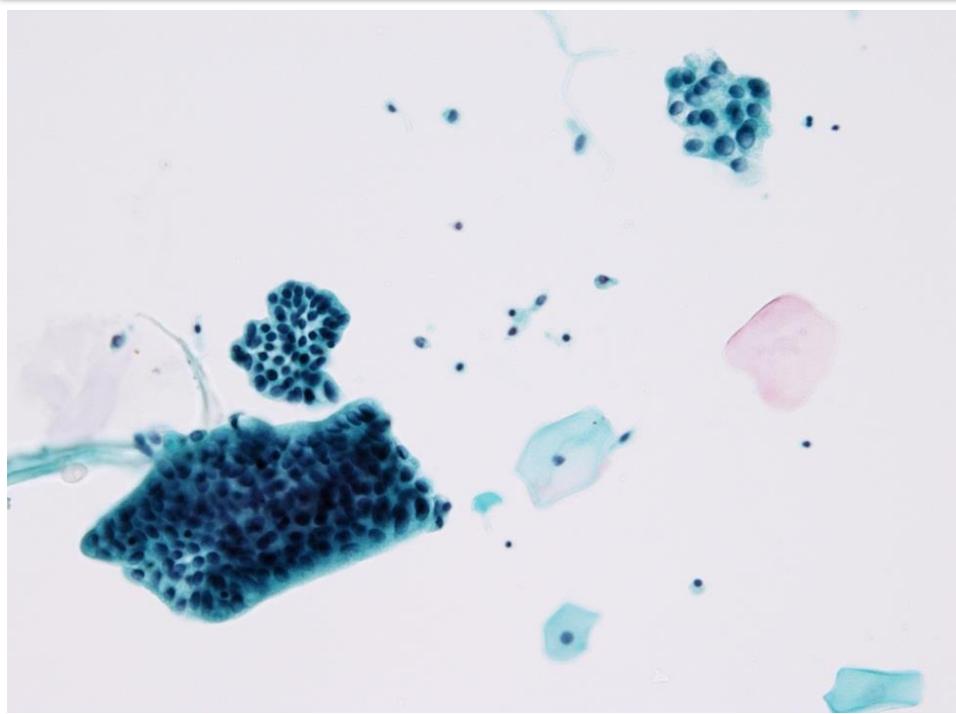
回答名称	件数	%
好酸性細胞型濾胞性腫瘤	1	4.2
低分化癌	0	0
乳頭癌	0	0
髄様癌	22	91.7
悪性リンパ腫	1	4.2
その他	0	0
小計	24	

鑑別のpoint

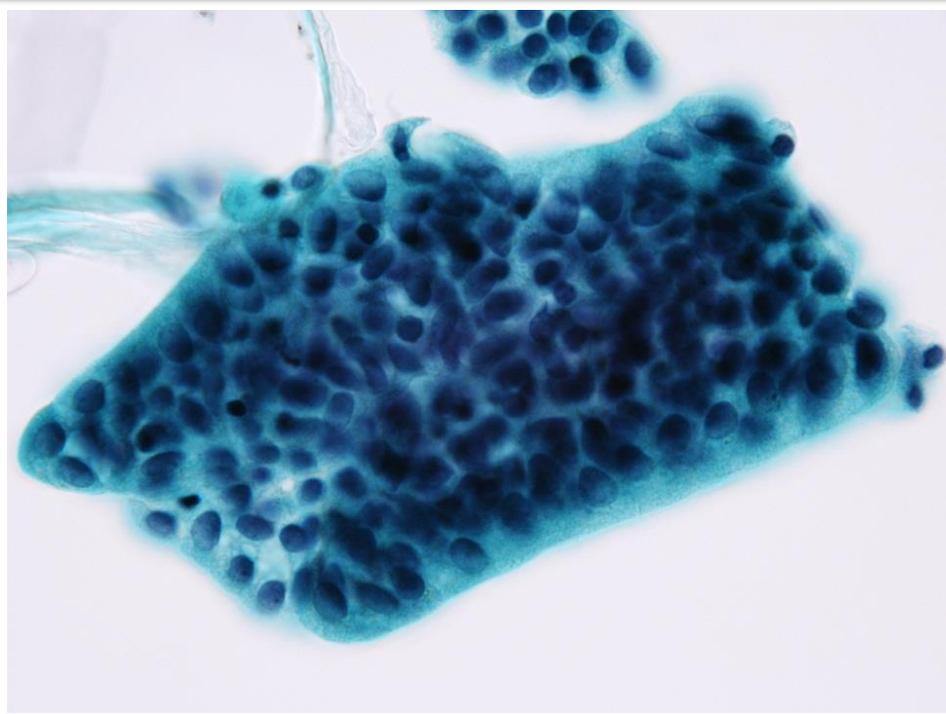
- 円形～卵円形の核で偏在傾向を示す。
- 粗顆粒状の核クロマチンの増量を示す。
- 細胞の大小不同は軽度であるが、所々に細胞質が広く大型核を有する異型細胞が孤在性に散見される。

設問6 70歳代・女性 カテーテル尿 カテーテル留置

Pap.染色 中拡大



Pap.染色 強拡大



回答名称	件数	%
良性尿路上皮細胞	21	87.5
低異型度尿路上皮癌	2	8.3
高異型度尿路上皮癌	0	0
前立腺癌	1	4.2
扁平上皮癌	0	0
その他	0	0
小計	24	

鑑別のpoint

- きれいな背景.
- 結合性の強い移行上皮細胞集塊.
- 集塊辺縁は平滑であり, 核の配列不正や大小不同は見られない.
- 個々の細胞は概ね小型であり, N/C比の増加や核クロマチンの増量もない.

まとめ

- 今回フォトサーベイは、総合正解率は93.8%であり、全ての設問で80%以上の正解率を示しており、フォトサーベイ問題として妥当であったと評価できる。
- 上記結果は、多くの施設における精度管理向上のための努力がなされている結果だと思われる。
- 本フォトサーベイを問題点の把握、改善の手がかりとしてとらえ、引き続き、検査精度の維持・向上への取り組みの一助と考えていただければ幸いです。